

2026 年春季労使交渉・中小企業業種別回答状況（第 1 回集計）
～295 社平均 12,083 円、アップ率 4.20%～

経団連は 7 月 8 日、2026 年春季労使交渉の中小企業業種別回答状況（加重平均）の第 1 回集計を発表した。

今回の集計は、地方別経済団体の協力により、原則として従業員数 500 人未満の中小企業 17 業種 754 社を対象に実施。同日までに回答（了承・妥結含む）を把握した 17 業種 305 社のうち、集計可能な 17 業種 295 社の総平均は、引上げ額 12,083 円（前年第 1 回集計比+257 円）、アップ率 4.20%（同△0.15 ポイント）であった。第 1 回集計としては、引上げ額は 3 年連続の 1 万円台、アップ率は 2 年連続の 4 %台を記録した。

製造業・非製造業別にみると、製造業（165 社）平均は 12,924 円・4.46%（前年第 1 回集計比+612 円、△0.05 ポイント）で、額は前年同期を上回ったが、率は微減となった。一方、非製造業（130 社）平均は 11,040 円・3.86%（同△79 円、△0.26 ポイント）で、額・率ともに前年同期を下回った。業種別では、17 業種のうち 13 業種で引上げ額が 1 万円台となり、12 業種でアップ率が 4 %超であった。

第 1 回集計段階ではあるものの、中小企業においても賃金引上げの力強いモメンタム（勢い）が一定程度波及していることが確認できる結果といえる。

今後は、8 月下旬に最終集計を取りまとめる予定。

以 上